

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	世界史演習 B	単位数	3 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(選択) 普通科Ⅰ類一般入試クラス		学年	第3 学年
使用教科書		『世界史B』			
使用副教材等		『ニュースステージ』 『世界史 B マーク式基礎問題集』			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件と関連付けながら理解させる。 現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	第3部 一体化にむかう世界 産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 ウィーン体制とその崩壊 19 世紀の文化 第4部 地球政界の到来 帝国主義 第一次世界大戦	○アメリカ・フランスにおける市民革命によって近代民主主義の理念と制度の原型が成立し、イギリスの産業革命によって資本主義社会が確立したことを把握させる。 ○ヨーロッパによる植民地化・従属化の動きに対抗して進められたアジア・アフリカの近代化についても把握させる。 ○帝国主義列強による世界分割と「再分割」をめぐる列強の利害対立から第一次世界大戦が起こったことを理解させる。 ○第一次世界大戦の総力戦としての性格を理解させる。
2 学 期	第4部 地球政界の到来 ヴェルサイユ体制 日中戦争 第二次世界大戦 冷戦時代の国際関係 戦後の各地域の歴史 20 世紀の文化	○ヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念と現実、アジア・アフリカの民族運動の動向を把握させる。 ○世界恐慌が戦間期の国際秩序に危機をもたらし、全体主義の台頭によって国際対立が生み出されて第二次世界大戦につながっていくことを理解させる。 ○第二次大戦後の米ソを中心とする東西両陣営の対立とその冷戦体制が「熱い戦争」をとめないながら次第に変化していくようすを把握させる。 ○戦後のアジア・アフリカの新興独立国家からなる第三勢力の台頭が世界の多極化をもたらしたこと、第三世界内部に次第に対立が生じていったことを理解させる。
3 学 期	学習のまとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	日本史演習B	単位数	3単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(選択) 普通科Ⅰ類一般入試クラス		学年	第3学年
使用教科書		『詳説日本史B』			
使用副教材等		『4ステージ演習ノート日本史B』 『新詳日本史』			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	第Ⅲ部 近世 第8章 幕藩体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> *江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 *幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 *武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。 *17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 *農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。 *欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。
2 学 期	第Ⅳ部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 第10章 二つの世界大戦とアジア 第11章 占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> *国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 *明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 *明治初期の対外政策について、欧米への対応と、アジアに対する外交政策の違いについて考察する。 *日露開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 *第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 *第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。 *戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。
3 学 期	第12章 高度成長の時代 第13章 激動する世界と日本 入試問題演習(センター試験・中堅私大)	<ul style="list-style-type: none"> *独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 *朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 *高度成長が終焉し、保守政権が動揺するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 *冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる *入試問題演習は京都産業大学、佛教大学、センター試験を中心に中堅私大を狙うための演習を行う。

令和4年度 学習指導計画

教科	公民	科目	政治経済	単位数	3単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(選択) 普通科Ⅰ類一般入試クラス		学年	第3学年
使用教科書		第一学習社『新政治・経済』			
使用副教材等		数研出版『4ステージ演習ノート 政治経済』			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義の本質に関する理解を深めさせる。 ・現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させ、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	民主政治の基本原則と日本国憲法 現代の国際政治と日本 現代経済のしくみと特質	<ul style="list-style-type: none"> ・法と民意に基づく政治の基本について理解させる。 ・政治機構・司法制度について、日本と他国を比較しながらそれぞれの特徴を理解させる。 ・現代世界の主な国際紛争について知る。 ・平和に向けた国際的な協力のあり方について考察させる。 ・経済の基本原則について理解させる。
2 学 期	国民経済と国際経済 現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・こんにちの日本にはどのような労働・雇用問題があるか、具体的な事例を通して考察させる。 ・グローバル化の進展にともなう労働力移動の活発化によって、どのような問題が生じているか、考察させる。 ・少子高齢化が進む日本社会の現状について理解させる。
3 学 期	学習のまとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	地理演習 B	単位数	2 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第3 学年
使用教科書		新詳地理 B(帝国書院)			
使用副教材等		新詳高等地図(帝国書院)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学受験に対応できる地理的地知識を身につける。 ・地誌を学び、地形と鉱物の成り立ちなど論理的思考力を身につける。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	地誌 アジア アフリカ 旧ソ連 ヨーロッパ アメリカ	世界各地での人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、日本の生活・文化を絶対視することなく、教科書の写真・地図を正確に読み取って広い視野から異文化を理解・尊重する態度を養う。 中国の自然と農業を踏まえ第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活・文化が、近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解し、中国と日本の相互依存関係についてまとめ、考察させる。
2 学期	私たちが直面する地球的課題 農業 人口 貿易 エネルギー	現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。 各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を自ら考える態度を養う。
3 学期	学習のまとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	日本史 A	単位数	2 単位
学科・類型		普通科 I 類		学年	第 3 学年
使用教科書		清水書院 高等学校日本史 A			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代日本がどうしてできあがったのか、先人の業績と日本の歩みを学ぶ 2. 複雑な社会や経済・文化の仕組みの成り立ちと他国の人々との交流を学ぶ 3. これからの日本のあり方と各自の生き方を考える
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	序編 私たちの時代と歴史 第 1 編 近代の日本と世界 第 1 章 国際関係の変化と幕藩体制の動揺 第 2 章 明治維新と近代国家の形成 第 3 章 立憲政体の成立と国際的地位の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代から近世にいたる時代区分座標軸となる歴史的事象を理解する。 ・産業革命の進展によってイギリスを中心に資本主義が急速に発展し、欧米諸国が 18 世紀以降にアジアに進出してきた背景を考察する。 ・ロシア・イギリスなどの外国船の来航と蝦夷地の動向やそれに対する海防論や幕府の対外政策の変化について理解する。 ・商品経済の発達村社会の変化をもたらし、貧富の差の拡大や飢饉を背景に百姓一揆や村方騒動が増大したことを認識する。 ・幕藩体制の動揺と内外情勢の緊迫の中で実施された幕政改革や藩政改革の評価と課題をまとめる。 ・開港後の貿易が国内経済の混乱を招き、尊王攘夷運動の激化にも影響したことを理解する。 ・文明開化の実態と民衆の生活・文化への影響を考察する。また 岩倉使節団の派遣などを通して明治初期の外交課題をまとめる。
2 学期	第 1 編 近代の日本と世界 第 3 章 立憲政体の成立と国際的地位の向上(続き) 第 2 編 大戦期の世界と日本 第 1 章 第一次世界大戦と日本 第 2 章 第二次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動が政府に何をもとめ、その結果どのような成果を得たのかを考察する。 ・日清戦争が近代日本にどのような影響を与えたかを、アジア世界の視点で捉える。また、日清戦争後の内外情勢の変化や日露の対立の原因を広く世界の歴史に着目して考察する。 ・日本の近代産業がどのような経緯で発展していったのかを多角的に理解する。 ・大正デモクラシーの意味とその展開過程を大観的に捉える。また、第一次世界大戦前後の国際情勢と我が国の対応の背景を分析する。 ・大正デモクラシー期の国民生活の実態を調査するとともに、現代と比較してまとめる。 ・大衆文化が成立した経済的社会的背景を考察する。 ・満州国が建国されたねらいやその後の日本の針路にどのような影響を与えたかを考察する。
3 学期	第 3 編 現代の世界と日本 第 1 章 戦後政治の動向と国際社会 第 2 章 経済の発展と国民生活の変化 第 3 章 現代の日本と世	<ul style="list-style-type: none"> ・GHQによる改革は戦後の日本社会をどのように改革しようとしていたかを考察する。また、戦後の政党復活や労働運動の高揚の経緯を、戦前からの推移を基礎に把握する。 ・大日本帝国憲法と比較しつつ、日本国憲法の特徴と成立の意義をまとめる。 ・55 年体制の成立の背景と安保闘争の意義を考察する。 ・高度経済成長の経緯をそのひずみにも着目して読み解く。 ・1970 年代の日本の政治経済状況と世界情勢の動向を多面的に捉える。経済大国意識や行革路線が現代の社会に与えた影響にも着目する。 ・21 世紀の日本外交の推移と平成不況の問題点を理解する。今日の世界と日本の課題を歴史的な視点から把握する。

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	世界史 A	単位数	2 単位
学科・類型		普通科 I 類		学年	第 3 学年
使用教科書		実教出版 世界史A 新訂版			
使用副教材等		実教出版 世界史A 新訂版 演習ノート			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代日本がどうしてできあがったのか、先人の業績と日本の歩みを学ぶ 2. 複雑な社会や経済・文化の仕組みの成り立ちと他国の人々との交流を学ぶ 3. これからの日本のあり方と各自の生き方を考える
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	第1章 ユーラシア諸文明の特質 第2章 ユーラシアの交流 第3章 一体化に向かう世	世界地図を理解させ、各地域の歴史のみならず、地理的・環境的な面にも着目した授業を展開する。学習する地域の衣食住についても包括的に学べるよう配慮する。 ヨーロッパの歴史についてはローマ帝国を中心に、アジア史については中国成立の起源を中心に学習する。
2 学 期	第3章 一体化に向かう世界 第4章 アジアの繁栄と世界	世界地図を理解させ、各地域の歴史のみならず、地理的・環境的な面にも着目した授業を展開する。所属コースが生活デザイン科ということもあるので、学習する地域の衣食住についても包括的に学べるよう配慮する。 アジアの歴史については中国・イスラーム・インドを中心に、近世の歴史まで学習する。
3 学 期	第5章 19 世紀の世界の一体化と 日本	産業革命やアメリカ独立戦争など、現代につながる出来事を学び、現代の世界の根源となっている部分を知る。

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	世界史演習 C	単位数	2 単位
学科・類型		普通科 I 類		学年	第 3 学年
使用教科書		世界史 B 新訂版(実教出版)			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民の資質と自覚を養う。
---------	--------------------------------------

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア王国の成立 ・ドイツ王国の成立 ・帝国主義と諸外国 ・清の滅亡と中華民国の成立 ・アジア諸国 ・第一次世界大戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の構想とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から 20 世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。 ・離れた時代の事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像、地図を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ体制 ・世界恐慌 ・ファシズム ・第二次世界大戦 ・冷戦 ・石油危機 	<ul style="list-style-type: none"> ・総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを利愛させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。 ・米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から 1960 年代までの世界の動向について考察させる。 ・離れた時代の事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像、地図を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代史 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970 年以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察させる。 ・離れた時代の事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像、地図を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	日本史演習C	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第3学年
使用教科書		実教出版『日本史B』			
使用副教材等		実教出版『日本史B 演習ノート』			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	現代日本がどのように出来あがったのか、先人の業績と日本の歩みを学ぶ。 複雑な社会や経済・文化の仕組みの成り立ちと他国の人々との交流を学ぶ。 これからの日本のあり方と各自の生き方を考える。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家と日清戦争 日露戦争と国際関係	諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策について、欧米列強とのかかわりに着目して政治、外交、経済など様々な面から考察させる。 国会開設の運動など、国民の間に政治的関心が高まるなかで立憲体制が成立し、近代国家の基盤が形成された過程を考察させる。 日本が韓国併合や満州への勢力拡張などを通じて植民地支配を進めたことを考察させるとともに、国民の対外意識の変化や近隣諸国の受け止め方について考えさせる。
2 学 期	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、我が国の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。 大衆社会成立の中での政党政治の発展を、政治や社会運動の動向に留意して考察させる。 「満州国」建国や華北分離工作などを進め、日中全面戦争にいたった経緯を理解させる。 日本の掲げた「大東亜共栄圏」の実態を理解させるとともに、戦争による多大な犠牲や被害について考察させる。
3 学 期	学習のまとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	公民	科目	政治経済	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第3学年
使用教科書		第一学習社『新政治・経済』			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義の本質に関する理解を深めさせる。 ・現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させ、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	民主政治の基本原則と日本国憲法 現代の国際政治と日本 現代経済のしくみと特質	<ul style="list-style-type: none"> ・法と民意に基づく政治の基本について理解させる。 ・政治機構・司法制度について、日本と他国を比較しながらそれぞれの特徴を理解させる。 ・現代世界の主な国際紛争について知る。 ・平和に向けた国際的な協力のあり方について考察させる。 ・経済の基本原則について理解させる。
2 学 期	国民経済と国際経済 現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・こんにちの日本にはどのような労働・雇用問題があるか、具体的な事例を通して考察させる。 ・グローバル化の進展にともなう労働力移動の活発化によって、どのような問題が生じているか、考察させる。 ・少子高齢化が進む日本社会の現状について理解させる。
3 学 期	学習のまとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	公民	科目	社会基礎	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第3学年
使用教科書					
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>1.グループで協力し、1つの発表を作り上げる</p> <p>2.文献やインターネットの資料を用いて、自分なりの考えを持つ</p> <p>3.自分の考えを文章や口頭(プレゼン)、ポスターで表現する</p>
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	課題設定 学習 (グループ)	<p><前半> 以下の3つのテーマから1つ選んで、研究・レポート ・株の仕組み ・ジェンダー ・自己発見</p> <p><後半> 以下の3つのテーマから1つ選んで、研究・発表 ・貧困問題 ・世界の国 ・マーケティング</p>
2 学 期	ディベート	<p>各クラスでディベートの順序、やり方を学ぶ。その後クラス内で予選を行う。 その後、全クラス合同で決勝大会を行う。 情報収集力を養う。入手した情報をもとに、感情的ではなく論理的な討論ができるようになる力を育てる。</p>
3 学 期	課題設定 学習 (個人)	<p>社会で起こる問題、社会情勢に興味・関心を持つ。さらにそのことに対する、自身の意見を持つ力を養う。それを表現し、発信する力を身に着けることを最終的な目標とする。</p>

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	世界史 A	単位数	2 単位
学科・類型		普通科 I 類 一般入試クラス		学年	第 3 学年
使用教科書		実教出版 世界史 A			
使用副教材等		実教出版 世界史 A 演習ノート			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界史の展開を、国際的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で大きく考察させる。 2. 歴史の展開の中、民族や国家ごとの思想、文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。 3. 歴史の過程を実証的に考察させることによって歴史の見方・考え方を身につけさせ、物事を起因・経過・結果と論理立てる力、歴史的思考力を育成する。 4. 民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養う。 5. 世界史を学ぶことで日本民族について考える。祖先と祖国を敬い愛する心と、次代を担う意識を育む。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	序章 世界史へのいざない 第Ⅰ部 ユーラシアの諸文明 第Ⅱ部 一体化する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・オランダの事例から、地理と歴史との関連について関心を高め、自然環境と人間の活動が深く関係していることを考察するとともに、近世の日蘭関係をふまえた日本史と世界史とのつながりについて資料の活用を通して考察させる。 ・南アジアの自然環境と諸民族、仏教の成立、ヒンドゥー教とカースト制度、イスラームの影響に触れ、南アジア世界の特質を把握させる。 ・ヨーロッパの自然環境と諸民族、封建社会の成立、キリスト教などに触れ、ヨーロッパ世界の特質を把握させる。 ・オランダやイギリスなどヨーロッパ諸国の世界貿易の特質を把握させる。 ・オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国というイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向と、明・清帝国と朝鮮や日本の関係など、繁栄するアジア各地の特質を把握させる。
2 学期	第Ⅱ部 一体化する世界と日本(続き) 第Ⅲ部 地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパ、アメリカの政治・経済的変革の過程を把握させ、産業社会と国民国家の形成を理解させる。 ・西欧諸国やロシア、アメリカの進出によるアジア諸国の動揺と改革について理解させるとともに、日本の位置づけも確認させる。 ・科学技術の発達と独占資本の成立、国民統合の進展により帝国主義の時代が到来し、世界分割がすすめられていく過程を考察させる。 ・第一次世界大戦とソヴィエト連邦の成立の過程を把握させるとともに、大衆社会の出現とアジア・アフリカの民族運動を理解させる。 ・世界恐慌を契機に第一次世界大戦後の国際協調体制が崩れ、ファシズム勢力の台頭による新たな国際的対立が始まり第二次世界大戦に至った過程を理解させる。
3 学期	第Ⅲ部 地球社会と日本(続き) 主題学習 模擬国連をやってみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・米ソ両陣営による冷戦の展開を把握させるとともに、アジア諸国の独立が進むなかで米ソの対立があたえた影響について考察させる。 ・アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展などを理解させ、現代世界と日本の動向について考察させる。 ・地球世界の課題に関する主題を設定して、人類が共存できる持続可能な社会の実現に向けて問題の解決方法を話し合う。

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	日本史 A	単位数	2 単位
学科・類型		普通科 I 類 一般入試クラス		学年	第 3 学年
使用教科書		清水書院 高等学校 日本史A 新訂版			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代日本がどうしてできあがったのか、先人の業績と日本の歩みを学ぶ 2. 複雑な社会や経済・文化の仕組みの成り立ちと他国の人々との交流を学ぶ 3. これからの日本のあり方と各自の生き方を考える
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	現代の世界と日本 戦後政治の動向と 国際社会 経済の発展と 国民生活の変化 現代の日本と世界	現在のロシア・ウクライナ情勢を理解するいうところをスタート地点として学習する。 戦争が起こった経緯を理解するには第二次世界大戦後の世界を理解する必要があるので、この時代から学習を進める。 日本史なので、冷戦期の世界情勢と日本の立場を明確にしながら授業を進めていく。
2 学 期	第一次世界大戦への参戦 と国際関係の変化 大戦景気と米騒動 ヴェルサイユ体制 社会運動の高まり 金融恐慌と外交政策 世界恐慌と昭和恐慌	日本が韓国併合や満州への勢力拡張などを通じて植民地支配を進めたことを考察させるとともに、国民の対外意識の変化や近隣諸国の受け止め方について考えさせる。 第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、我が国の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。 大衆社会成立の中での政党政治の発展を、政治や社会運動の動向に留意して考察させる。
3 学 期	満州事変と国際連盟脱退 二・二六事件と日中戦争 第二次世界大戦と日本 アジア太平洋戦争の勃発 戦時下の国民生活	「満州国」建国や華北分離工作などを進め、日中全面戦争にいたった経緯を理解させる。 日本の掲げた「大東亜共栄圏」の実態を理解させるとともに、戦争による多大な犠牲や被害について考察させる。

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	日本史 A	単位数	2 単位
学科・類型		生活デザイン科		学年	第3 学年
使用教科書		清水書院 高等学校 日本史A 新訂版			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代日本がどうしてできあがったのか、先人の業績と日本の歩みを学ぶ。 2. 複雑な社会や経済・文化の仕組みの成り立ちと他国の人々との交流を学ぶ。 3. これからの日本のあり方と各自の生き方を考える。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	現代の世界と日本 戦後政治の動向と 国際社会 経済の発展と 国民生活の変化 現代の日本と世界	現在のロシア・ウクライナ情勢を理解するいうところをスタート地点として学習する。 戦争が起こった経緯を理解するには第二次世界大戦後の世界を理解する必要があるので、この時代から学習を進める。 日本史なので、冷戦期の世界情勢と日本の立場を明確にしながら授業を進めていく。
2 学 期	第一次世界大戦への参戦 と国際関係の変化 大戦景気と米騒動 ヴェルサイユ体制 社会運動の高まり 金融恐慌と外交政策 世界恐慌と昭和恐慌	日本が韓国併合や満州への勢力拡張などを通じて植民地支配を進めたことを考察させるとともに、国民の対外意識の変化や近隣諸国の受け止め方について考えさせる。 第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、我が国の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。 大衆社会成立の中での政党政治の発展を、政治や社会運動の動向に留意して考察させる。
3 学 期	満州事変と国際連盟脱退 二・二六事件と日中戦争 第二次世界大戦と日本 アジア太平洋戦争の勃発 戦時下の国民生活	「満州国」建国や華北分離工作などを進め、日中全面戦争にいたった経緯を理解させる。 日本の掲げた「大東亜共栄圏」の実態を理解させるとともに、戦争による多大な犠牲や被害について考察させる。

